

東風見聞録

世界を目指して

写真員 竹内靖恵

三浦半島にてカヤックトレーニング

西伊豆カヤックトレーニングを終え、次は東京オリンピックにカヌー選手として出場した本田大三郎氏が主宰するマホロバ・ホンダカヌースクールをベースに三浦半島にてトレーニングを開始。スクール所有のパドリングタンク等を使って、フォームなどを徹底的にチェックし、スピードとパワーアップを狙う。

本田大三郎氏は元々自衛隊体育学校でハンドボールを指導していて、日本選手として国際大会などにも出場をしていた。当時の目標は東京オリンピック。しかし、ハンドボールはオリンピック競技種目から漏れてしまった。そこで新しく正式種目になったカヌー競技に目をつけ、急遽カヌー競技へと転向。たった3年間の練習を経て、東京オリンピックに日本代表のキャプテンとして出場したという経歴の持ち主。

現在、マホロバカヌースクールにてオリンピックなどを目指す人を含め、幅広くカヌーを教えている。70歳を越える年齢とは思えないほどのバイタリテイの持ち主。怒ると高校生でも平手でぶっ飛ばす。

三浦海岸でのカヌー合宿は2月いっぱいまで続く予定。



カヤックエルクォマシーンでフォームチェックを受ける陽希

平成19年12月発行 通巻23号
イーストウィンド・プロダクション 田中正人・竹内靖恵
群馬県利根郡みなかみ町鹿野沢六三七 M 三二

オリエンテーリング イン 朝霧

10月27、28日の2日間に渡って、静岡県立野外活動センターにて「オリエンテーリング イン 朝霧」が催された。主催はオリエンテーリング界の巨匠、村越真氏。

今回は一般向けのオリエンテーリング大会ではあつたが、ロゲイニングの部分も加わり、上級者でも楽しめるコースが設定された。



参加した家族。豪雨の中、お父さんは子供にビニールをかけて背中に背負っている！

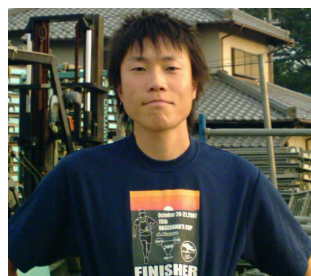
大型台風接近による暴風雨の中、1日目にミニオリエンテーリングとミニアドベンチャーレースを開催。

ミニアドベンチャーレースは田中正人と宮内佐季子(チームイーストウィンド選手)がコースを作り、野外活動センター敷地内ながらもカヌーやツリークライミングなど多彩に富んだコースを提供した。

08年度チームイーストウィンドのトレーニング生決定！

来年からチームイーストウィンドのトレーニング生として共に頑張る仲間が11月3日に決定した。里見洋一(27)。

元サッカー選手(飯能ブルダール所属)で、今年の日本山岳耐久レースでは09時間13分02秒を出し、トレーニング生になる条件10時間内をクリア。



これからの里見洋一の活躍に期待したい。

不破中学校で講演会

11月30日(金)岐阜県垂井町立不破中学校にて講演会をさせて頂いた。

講演会は約1時間で、テーマは「本音をぶつけ合うチームワークの大切さ」。生徒たちには聞きなれないアドベンチャーレースが主題ではあつたものの、最後に「アドベンチャーレースに挑戦してみたい人はいますか?」と聞いたところ、3分の1程度の生徒が手を挙げてくれた。

人間関係が希薄になりつつある昨今、今回の講演を通して、一人でも多くの若者が本音をぶつけ合う事の大切さ、そしてそこから生まれるチームワークのメッセージを受け取ってくれたら幸いだ。



趣味はパン屋めぐりというお茶目な一面も見せるさわやかな青年である。

赤城トレイルランニングレース

11月11日(日) 赤城トレイルランニング・レースが開催された。フィールドは紅葉も終盤を迎えた赤城山周辺。

参加者192名、うちロングコース(27キロ)124名、ミドルコース(15キロ)68名。本大会にイーストウインドから田中正人が招待選手として出場。トレーニング生の田中陽希も出場した(両名ロングコース)。



田中正人は3時間06分06秒で3位。目標タイム3時間以内を切ることができなかった。

陽希は3時間27分08秒で7位。目標タイム3時間30分をギリギリクリアした。

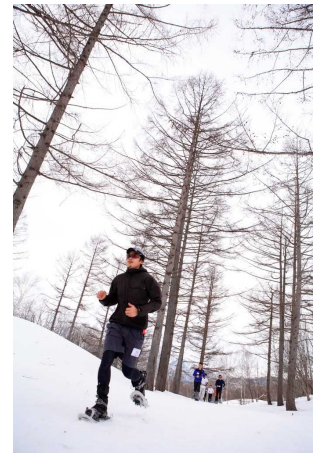
優勝は赤城山をホームグラウンドとする楠木毅氏で2時間51分59分。圧倒的な強さを見せてのダンツ優勝であった。

このコースは見晴らしも良く、景色も美しい。今ブームのトレイルランゆえ、来年は参加者が増えると思われる。

第4回タブスカップスノーシューレースの参加者を大募集

今回で4回目を迎える「タブスカップ・スノーシューレース」。

開催地は水上高原ゴルフ場エリアで、冬季はクロスカントリースキークースとして利用されている安全で基本的に走りやすい場所だ。



今大会より日本スノーシューイング連盟の下「全日本スノーシューイング・グランプリシリーズ」の一戦となる。

日本スノーシューイング連盟は、より多くの人達に雪の自然に接してもらうために、歩くだけでなく競技としてのスノーシューイングの普及活動にも努めていて、本シリーズは日本におけるスノーシューイング競技人口を増やすと共に競技レベルの向上を図り、国際大会に通用する競技者を輩出することを目的としている。

【開催日】
平成20年3月1日(土)

【運営】
イーストウインドプロダクション

【申込締切】

平成20年2月20日(水)

【詳細・申込み】
<http://www.eastwind.jp/kooci/>

イーストウインド 最新メディア情報



山と溪谷 12月号

(山と溪谷社)

1年間連載した『山と溪谷』のコラム「アドベンチャーレーサー田中正人の極限から学ぶ“山の新常識”」も今回で最終回となる。

最終回は今まで田中が1年間語り続けてきたことの集大成とも言える「自然の中での責任ある行動」だ。
(発売は11月15日)

この1年、山と溪谷社様には本当にお世話になりました。また拙い文章にお付き合いくださった読者の皆様にも心よりお礼を申し上げます。いつかどこかの山岳で田中正人を見かけたらどうぞ気軽に声を掛けてください。そして連載の感想でもお聞かせ願えればと思います。



日本経済新聞

11月29日(木)の日本経済新聞の「天職発見」で、田中正人のインタビューが掲載された。

8年間勤めた会社を辞め、いきなり道筋のないアドベンチャーレーサーという職業を選んだ田中。その時の胸中、苦労、そして今に至るまでが語られた。

(写真:インタビュー風景、マホロバホテルにて)